

# 静岡市主催 区民スポーツ大会(葵区、駿河区)の廃止について

スポーツ振興課

## 1 趣旨

静岡市主催 区民スポーツ大会(葵区、駿河区)(以下「区民スポーツ大会」)は、事業の見直しにより、廃止することとしました。

### 【区民スポーツ大会の沿革】

1970年(昭和45年)に第1回「静岡市民総合体育大会」を開催し、令和7年度大会まで55年に渡り開催してきました。本大会は、区民や学区間の交流、市民のスポーツ機会の創出等の役割を果たしてきました。

### 【区民スポーツ大会の概要】

大人中心の大運動会と年齢制限のないニュースポーツの部で小学校区単位の自治会連合会対抗で実施しています。自治会は、選手とスタッフの選出等、スポーツ推進委員は、大会運営や種目の決定等、市は、主催者、事務局として事務手続きや関係各所との連絡調整等の役割分担により、3者の共同で大会を運営しています。

## 2 見直しの理由

### (1)市のスポーツ推進計画との乖離

・年1回の開催ではスポーツ実施率向上に結びつかず、種目も運動会中心で日常的なスポーツ実践に繋がりにくい。

### (2)誰もが気軽に参加できるイベントではない。(ユニバーサルスポーツの推進とのミスマッチ)

・学区対抗形式のため、参加者が限定され、希望者が参加できない場合がある。

### (3)市民・自治会関係者からの見直し要望、意見

・開催の意義が達成できていない、参加強制感がある、各学区の実情に合わせた配慮に欠けている。  
・運営負担が大きい、参加者集め、準備、暑熱対策等の負担が大きい。

## 3 見直しに向けた取り組み

### (1)アンケートから見えた課題

・参加者の約50%が「役員に頼まれて参加した」と回答している。  
・スポーツ推進委員は、区全体で集まることに価値がある、学区・地区として参加することが義務のようになっていて負担が大きい、等のプラスの意見もマイナスの意見もある。  
・自治会の約76%が「選手集めに苦勞している」、約46%が、次年度以降「開催しないことを希望している」状況。  
・市民の約50%が大会の存在を知らず、自主参加経験者は3.5%と極めて少ない。

### (2)関係者の意見

・スポーツ推進委員は、「大会を改善するために協議して取り組むことはできるが、大会の開催自体の決定は主催者の静岡市が判断すべき」、という意見だった。  
・大会が地域の交流や防災時の助け合いに役立つという肯定的な意見もある。

## 4 市の見解:区民スポーツ大会を廃止します。

理由:現代の市民ニーズ・ライフスタイルとの不一致、全市民にスポーツ機会を提供できる内容ではない、スポーツ実施率の向上への効果が低い、自治会・参加者双方の負担が大きい、各学区内の交流は、学区において開催するイベントの方が効果が高いと考えます。

## 5 廃止後の方向性

・「(仮称)ユニバーサルスポーツフェスティバル」の開催、「スポーツ×防災」等、多様な機会の提供  
・学区のスポーツ活動の支援を継続します。(用具の貸出、地域スポーツ振興事業補助金の交付)